

特別展「やまぐち昆虫発見隊」 週替わり展示について

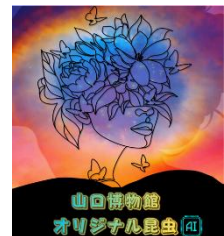
県立山口博物館では身近に存在しながら十分に知られていない昆虫の生態を、体験型コンテンツ等を介して紹介する特別展「やまぐち昆虫発見隊」を開催します。第3章「山口県の昆虫」エリアでは、週替わりで山口県特有の昆虫や地域文化に根付いた昆虫を取り上げます。週替わり展示を複数日ご覧になられた方には先着50名さまに限定オリジナルプレゼントを差し上げます。

内 容 以下の4つのテーマで山口県特有の昆虫や地域文化に根付いた昆虫を取り上げ、類似種との見分け方を、手を動かしながら学ぶ内容となっています。類似種との見分けの正誤は、山口博物館が独自に開発したオリジナル昆虫AIによって判定されます。

【テーマ】

- ・第1弾「夏みかんとクロアゲハ類」 7/23（木）～8/2（日）
- ・第2弾「長門峡のシジミチョウ類」 8/4（火）～8/9（日）
- ・第3弾「秋吉台のヒョウモンチョウ類」 8/11（火）～8/16（日）
- ・第4弾「甕れ！ベッコウトンボ」 8/18（火）～8/23（日）

会場では各テーマの昆虫の中で、お題の種を多数の写真の中から探し出し、カメラに向かって回答します。山口博物館が独自に開発したオリジナル昆虫AIがその正誤を判定します。この昆虫AIは山口博物館の所蔵する大量の昆虫標本画像を利用して開発しており、日本科学協会の笹川科学研究助成による助成を受けたものです。



会場の様子

プレゼント 週替わり展示を複数日ご覧になられた方には先着 50 名さまに限定オリジナルプレゼントを差し上げます。プレゼントは学芸員が 1 つ 1 つ手作りしたチョウ類の羽のキーホルダー（プラバン・レジン製）です。該当の方は、係員に異なる日付印のある複数の特別展観覧券をご提示いただくか、会場のプレゼント展示コーナーを日付入りで撮影した写真画面のご提示をお願い致します。

注 意 事 項 ・ 上記条件を満たした方のみ限定オリジナルプレゼントを差し上げます。3 回以上ご覧になられた方や 1 つのテーマを複数日ご覧になられた方も対象になります。

- ・ 昆虫 AI による昆虫識別の正誤判定回数は条件ではありません。
- ・ 限定オリジナルプレゼントの残数が残り 10 個になった時点で、博物館ホームページ上でお知らせします。増産は致しませんのでご了承ください。

テーマの詳細 第 1 弾「夏みかんとクロアゲハ類」 7/23（木）～8/2（日）



県の花に指定されている「夏みかん」は、萩市などの地域で歴史的に栽培されており、経済栽培が始まって今年で 150 年を迎えました。ナガサキアゲハをはじめとしたクロアゲハ類はミカン科の植物を幼虫の餌として利用します。



対象種

クロアゲハ

ナガサキアゲハ

オナガアゲハ

カラスアゲハ

第2弾「長門峡のシジミチョウ類」 8/4（火）～8/9（日）



長門峡と言えばモミジの紅葉が有名ですが、実は長門峡県立自然公園の大部分はモミジなどの落葉樹ではなく、どんぐりを実らせるアラカシ、イチイガシ、ウラジロガシなどのブナ科植物の常緑樹で構成されています。温暖で多湿な環境かつ発達した常緑樹林帯のある地域に生息する「ルースシジミ」という美しいチョウは、県内では長門峡一帯でしか見ることはできません。



対象種

ルースシジミ

ムラサキシジミ

ムラサキツバメ

第3弾「秋吉台のヒョウモンチョウ類」 8/11（火）～8/16（日）



長年、大規模な草原環境が維持されている特別天然記念物「秋吉台」には、「オオウラギンヒョウモン」というオレンジ色のチョウが生息しています。幼虫はスマレ科の植物を食べますが、スマレは日当たりの良い草原がなけ

れば生きていけません。全国的にそうした草原が減少しており、オオウラギンヒョウモンも絶滅の危機に瀕しています。



対象種

オオウラギンヒョウモン オオウラギンスジヒョウモン ツマグロヒョウモン メスグロヒョウモン

第4弾「甦れ！ベッコウトンボ」 8/18（火）～8/23（日）



ベッコウトンボは1965年に県内では初めて山口市鑄銭司のため池で確認されました。羽化後数週間は鮮やかで繊細なベッコウ色ですが、成熟するにつれ黒色に変色します。現在では山口県を含む5県でしか見られず、絶滅の危機に瀕しています。県内では山口市や防府市などの限られたため池でのみ確認されています。



対象種

ベッコウトンボ（未成熟） ベッコウトンボ（成熟） ヨツボシトンボ

お問い合わせ 県立山口博物館 担当 特別展「やまぐち昆虫発見隊」係
〒753-0073 山口市春日町8番2号
(083) 922-0294 (月曜休館)